

卒業生の今

～第一線で活躍する卒業生～

地道な取り組みが 日本の医療を変える力に

Toshihiko Maeda

前田 稔彦さん

- 出身学部 兵庫医科大学 医学部
- 卒業年 平成3年3月卒業
- 勤務先 まえだ耳鼻咽喉科クリニック(奈良県橿原市)

工学部を中退して医学部へ そして地元で開業医に

他大学の工学部をめざして受験勉強をしていた時に、母親がくも膜下出血で倒れた。そのまま工学部に進学したものの、母親の通院に付き添う毎日。「医学の進歩によって助かる命が増えたのは事実だけれど、その後の生活で困難を抱えている人も少なくない」という現実を身をもって実感させられた。「医療はどうあるべきなのか。答えなんてないのかもしれませんが、それを見出そうとするなら、自分が医師になるしかないと思ったんです」。そうして前田氏は工学部を2年で中退し、半年の準備期間で兵庫医科大学に入学した。

耳鼻咽喉科を選んだのは、父親が耳鼻咽喉科医だったからだ。「父から医師になれとは言われていなかったから、一度は工学部に進んだんですけどね」と前田氏は笑う。平成15年、地元の奈良県で「まえだ耳鼻咽喉科クリニック」を開業。アレルギー科を併設し、現在も東洋医学を取り入れた幅広い治療を行っている。



グラム染色を取り入れた診療で 厚生労働大臣賞を受賞

まえだ耳鼻咽喉科クリニックは今年、第1回薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰で厚生労働大臣賞を受賞した。細菌を染色して鑑別・推定する「グラム染色」を診療に取り入れて、抗菌薬の適正使用に努めていることが評価されたのだ。

グラム染色を取り入れたのは、まだ今ほど耐性菌の脅威が認識されていなかった12年前。患者さんのために、病気の治癒が早くなることなどを期待して導入した。「薬剤師である妻が、勉強会で聞いたグラム染色を導入してみないかと提案してくれたんです。でも、最初は躊躇しましたよ。感染症専門医でもないし、グラム染色でブドウ球菌と肺炎球菌の区別がつくということさえ知らなかったぐらいでしたから」。

グラム染色で菌種を推定できるため、経験的な治療を行っていた頃に比べて治療に要する期間は実際に短くなり、患者さんの負担が軽減。抗菌薬の処方自体も大幅に減少した。「そもそも菌がいなければ抗菌薬は出さずに済みますし、菌がいる場合にはその菌に合った薬を適正に処方することができるため、処方件数が6分の1にまで減ったんです」。

導入した当初は、抗菌薬を出さないことに不安を感じる患者さんでしたが、グラム染色の結果をモニター上で示し、その抗菌薬が選択された理由や、不要ならその理由を丁寧に説明してきた。「患者さんが説明に納得して笑顔を返してくれるとうれしいんです」。たとえ子どもであっても、できるだけ本人に説明し、理解して治療を受けてもらう。そうすることで、患者さんの薬に対する意識も少しずつ変わっていった。



地道に、信念を持って 挑戦は続く

今回、厚生労働大臣賞を受賞したことで、「抗菌薬の適正使用を広めていく責任を改めて感じている」という前田氏。患者教育を地道に続けていくことはもちろん、医療従事者にもグラム染色を診療にスムーズに導入する方法など、クリニックで培ってきたノウハウを伝えたいと考えている。

クリニックのスタッフは、薬剤師の妻をはじめ、看護師や臨床検査技師など総勢13人。「グラム染色を取り入れた今の診療スタイルは、チーム医療で取り組んでいるからこそ成立しているものです」。現在、診療の傍ら、診断・処方の実例集の作成を進めるほか、抗生物質に対する患者さんの理解を深めるため、インタビューによる調査研究も計画している。

趣味のテニスをする時間もないほど忙しい毎日を送る前田氏にとって、癒しの存在は「羊」なのだとか。クリニックのシンボルマークも、かわいい羊だ。「学生時代から、国家試験の準備中など大変な時でも、羊を見ると気持ちが落ち着いて。羊が好きなんですよね」と笑う。「口癖のように『羊飼になりたい』と言っていたら、知らないうちに妻が新聞社の企画に応募し、農場で羊飼い体験をさせてもらったこともあるんですよ」。

前田氏の人柄によるものか、クリニックの雰囲気はとても温かい。きっと今回の受賞も、患者さんのことを第一に考え、真っ直ぐに向き合ってきた結果なのだろう。「地道に、真面目に、何かに取り組んでいれば、成し遂げられることはある」と前田氏。地方のクリニックの挑戦が、日本の医療のあり方を変えていく。



気になる授業

兵庫医科大学・兵庫医療大学の
魅力たっぷりの授業をご紹介します！

全学部対象「チーム医療演習」

平成29年9月4日～9月8日までの5日間、兵庫医科大学の3年次生(医学部110人)と兵庫医療大学の4年次生(薬学部、看護学部、リハビリテーション学部 計326人)が西宮キャンパスに集まり、「チーム医療演習」を行いました。

この演習授業は、医療職種間の相互理解を深めるとともに、「チーム医療」を駆使して患者さんの問題を解決する能力を身につけることを目的としています。学生たちは、学部混成の6～7人単位のグループに分かれ、医療チーム内における自分の役割や医療従事者同士のコミュニケーションの重要性を理解しながら、これから実践していく「チーム医療」について意識を高める良い機会となりました。

演習スケジュール・プログラム

- | | |
|------|---|
| 1日目： | ガイダンス、アイスブレイク、IRAT(個人試験)、TRAT(グループ試験)、試験フィードバック、症例討議1回目 |
| 2日目： | 特別講義「専門職連携実践/ IPWと専門職連携教育/ IPEの基礎知識」
千葉大学大学院看護学研究科附属専門職連携教育研究センター 井出 成美准教授 |
| 3日目： | 症例討議2回目、自習、発表準備 |
| 4日目： | 発表会 |
| 5日目： | 症例解説フィードバック、模擬カンファレンス、試験、試験解説講義、全体講評、表彰、まとめ |

1日目



ガイダンス



アイスブレイク



IRAT

3日目



症例検討、発表準備

5日目



模擬カンファレンス

2日目



特別講義

4日目



発表会



表彰

参加学生の感想

＝ 医学部 ＝

- ・普段の講義では、あまり聞かない医療職の連携について学べたので、非常に良い機会となりました。
- ・1年次の時より医学的知識を持って臨めたので、しっかり理解したうえでグループ討論ができました。
- ・学部毎に知識の領域が異なるので、それを共有し合うことに苦労しました。
- ・全ての医療関係者が協力し合えるチーム医療をしていきたいと思います。

＝ 薬学部 ＝

- ・他学部が日頃学んでいることを知れて、薬学生としてこれから学ぶべきことが明確になりました。
- ・討論の中で、薬の選択が本当に正しいのかどうか判断するのに苦労しました。
- ・1年次のチュートリアルよりも各学部で専門的な知識が増えたため、深い討論ができました。
- ・話し合いで提案でき、臨機応変に対応できる医療人になりたいです。

＝ 看護学部 ＝

- ・他学部についての知識が乏しいので、話についていくのが大変でした。
- ・専門職はもちろん、必要であれば非専門職も会議に参加するなど多職種で連携することが重要だと感じました。
- ・1年次と違い、知識がついた状態だったので、より実践に近い討論ができたと思います。
- ・患者さんの意思を聞き、チーム内では調整役として働きかけることができる医療人を目指したいです。

＝ リハビリテーション学部 ＝

- ・リハビリの具体的な仕事内容は他学部にあまり知られていないので、情報共有をしっかりと行いました。
- ・チーム内で協力し、1人ずつ意見を出し合えるような雰囲気づくりを心掛けました。
- ・1年次に比べて専門知識が増え、今回の授業に参加できたので医療人としての責任感が湧きました。
- ・今回の授業を受けて「働く」ということに意識が向き、気を引き締める良い機会になりました。



全学部対象「早期臨床体験実習」～合同チュートリアル学習～

上記のように「チーム医療演習」で高学年次に多職種連携を学んでいますが、入学早期からチーム医療について意識することが重要です。そこで本法人では、平成29年9月11日～13日までの3日間、兵庫医科大学および兵庫医療大学4学部の1年次を対象に、早期臨床体験実習の授業の一環で4学部合同チュートリアル学習を行いました。

この実習は、医療専門職としての知識や技術を習得していくにあたり、医療人としての自覚を培い、勉学のモチベーションを高めることを目的としている授業です。チュートリアル学習当日、学生たちはチーム医療演習と同様に学部混成のグループに分かれ学んだばかりの知識を互いに共有し、チーム内での自分の職種における役割などを学ぶことができました。

プログラム

- | | |
|------|---|
| 1日目： | ガイダンス、IRAT(個人試験)、アイスブレイク、TRAT(グループ試験)、問題解説、グループ討議 |
| 2日目： | グループ討議、発表準備 |
| 3日目： | 発表会、試験、解説総評、修了式、表彰 |

1日目



アイスブレイク

みんなで協力して
知識を共有！

2日目



発表準備

3日目



発表会

慣れない発表で
緊張した！



4学部混成グループ

参加学生の感想

＝ 医学部 ＝

- ・いろいろな意見を知ることができ、考え方が変わりました。

＝ 薬学部 ＝

- ・チーム医療を学ぶことの大切さを感じたので、これからも知識をどんどん増やしていきたいです。

＝ 看護学部 ＝

- ・自分と違う視点の意見を認め合えたので良かったです。

＝ リハビリテーション学部 ＝

- ・学部の違う人たちと接することがないので、授業を通して新しい意見を知ることができて良かったです。

宇宙の神秘を数値で読み解く ～何億光年先の強いエネルギーに惹かれて～

兵庫医科大学
共通教育センター 教授 加藤 精一

兵庫医科大学の開学前から大学設置準備に関わった加藤精一教授。学部の枠を超えて、医療人として求められる教養や専門領域外の医療知識を身につける科目を担当する共通教育センターに所属し、現在は「物理学」「情報の科学」「数理科学入門」などの講義を担当している。

幼き頃からの憧れを仕事に

星が美しく見える静岡県御殿場市に生まれ育ったことが影響してか、幼少期から宇宙に興味を持ち、天文学者になりたいと思っていた加藤教授。さまざまな現象の数学的なモデルを作成したいと東京大学工学部の数理工学コースへ進学したが、宇宙への強い想いは消えることなく、大学院にて天文学を専攻。国立天文台(東京都)、国立天文台野辺山(長野県)、東京大学木曽観測所(長野県)、宇宙科学研究所(神奈川県)などを友人とまわったが、講義で興味を持った数値シミュレーションの研究室に所属することに決めた。

大学院時代から現在まで、一貫して研究しているテーマは「宇宙ジェット」。研究で関わるまで名前も知らなかった存在だ。

「宇宙ジェット」を 方程式で解く

「宇宙ジェット」とは、銀河や星など、天体の中心から噴出するガスのこと。新しく星が生まれる際などに、円盤状のガス雲の回転中心に引き寄せられた物質の一部が、ジェット

として円盤と垂直方向に噴出していく現象だ。ジェットの長さは、その天体の直径の約100億倍になることもあり、想像の範疇を超えるほど長い。ハッブル宇宙望遠鏡などの高精度な望遠鏡で撮った写真などに、細い線状で現れているようだ(右画像参照)。この現象は、1960年代に銀河から出ているのが確認され、1980年代には星、特に原始星と言われる誕生して間もない赤ちゃんのような星においても見られることが分かった。

この宇宙ジェットを加藤教授は「MHDシミュレーション」を用いて研究している。天体現象への応用を目的に、時間に依存する電磁流体(MHD)方程式を数値的に解く実験のことである。問題設定を行い、方程式を立てて解くべきアルゴリズムを考え、さまざまな諸条件のもと計算。そして、理論で出した値と観測とを比較する。

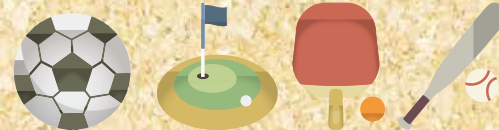
MHD方程式は、密度、速度ベクトル、磁束密度ベクトル、圧力など8個の変数からなる偏微分方程式であるが、さまざまな条件を考慮する必要があり、複雑である。時には、電気抵抗など別の物理を入れなければいけないときも。観測したデータと数値計算したデータを照らし合わせ、どのモデルを起用するかを考えていく研究だ。



好きだからこそ続けられる

専門外の人にとっては少々複雑怪奇な分野かもしれないが、加藤教授は「宇宙ジェットというエネルギーあふれる現象に神秘性を感じ、とても惹かれる」と話す。「原始星は、肉眼では見えない小さな小さな星という印象なのに、実はとてもつよい熱を帯びてガス雲から生まれて形成され、ジェットも噴出しているパワフルな存在だというギャップが良いんです」。

奇しくも、大学院生時代に国立天文台のシステム・サーバ管理を行っていたことがきっかけで、大阪大学サイバーメディアセンターを経て、2006年より兵庫医科大学の情報システム関係に携わるようになった。現在は、主に情報学や物理学の講義を行い、他大学にて天文学の講義の教鞭を取っている。自らが好きな宇宙や星に、同じように興味を持つ学生、教職員や一般の方のため、毎年7月には「七夕講演会」を開催。9回目を迎えた今年は、参加者とともに土星や木星を望遠鏡で観測した。「せっかく同じ法人内に病院があるので、可能ならば病院内で患者さんやご家族と一緒に天体観測ができれば」と、今後の希望を目を輝かせながら語った。



平成29年度 第69回 西日本医科学生総合体育大会等結果報告 (総合成績30位/44大学)

平成29年8月8日から20日に行われた西日本医科学生総合体育大会等において、好成績を収めた結果を掲載します。

兵庫医科大学

クラブ名	種目・部門	順位	学生
軟式テニス部	男子団体戦	ベスト16	
	女子団体戦	ベスト16	
サッカー部	男子団体戦	ベスト8	
バスケットボール部	男子団体戦	ベスト8	
バレーボール部	男子団体戦	ベスト16	
バドミントン部	男子個人戦ダブルス	ベスト8	(5年)岩谷 太史 (5年)西村 裕貴 (4年)長谷 拓也 (1年)朝隈 洸太 (4年)村上 綾香 (4年)今泉 なぎさ (4年)酒巻 華子
	女子個人戦シングルス	ベスト16	
	女子個人戦ダブルス	ベスト32	
	男子個人戦	優勝	(5年)熊本 友子 (6年)真殿 茉莉 (5年)相澤 良 (5年)阪本 知郎 (5年)村上 慶次郎 (3年)三谷 晃平 (3年)杉本 元 (3年)橋爪 慎介 (1年)高木 陵平 (1年)宮下 晃平
柔道部	男子団体戦	ベスト8 ベスト16	
	女子個人戦	優勝	
卓球部	女子個人戦シングルス	ベスト32	(4年)牟田口 由紀子 (4年)牟田口 由紀子 (3年)山本 梨央 (4年)濱田 一磨
	女子個人戦ダブルス	ベスト32	
陸上競技部	男子個人戦シングルス	ベスト64	
	女子400m	5位	(4年)新宅 由佳 (4年)新宅 由佳 (4年)清水 健太郎
剣道部	女子800m	1位	
	男子円盤投	6位	(4年)大塚 喬史 (2年)寺嶋 真由 (2年)中嶋 淳美

クラブ名	種目・部門	順位	学生
ヨット部	470級(本レース)	2位	(5年)西村 壮太 (4年)池尾 諒介 (5年)古畑 博史
	スナイプ級(本レース)	3位	(2年)平野 裕樹 (2年)谷岡 由朗
	総合(本レース)	1位	
	470級(ブラクティスレース)	4位	(5年)西村 壮太 (4年)池尾 諒介 (5年)古畑 博史
	スナイプ級(ブラクティスレース)	5位	(2年)谷岡 由朗

【その他、主な大会結果】

クラブ名	種目・部門	順位	学生
第32回全日本医科学生 アーチェリー競技大会 (アーチェリー部)	男子団体	2位	(6年)藤重 大輔 (4年)大岡 裕隆 (4年)武田 謙太郎
	男子シングル	優勝	(6年)藤重 大輔
	30金賞	6位	(4年)大岡 裕隆 (6年)藤重 大輔 (4年)大岡 裕隆
	男子短距離賞(30m)	優勝	(2年)辻 龍佑
	男子ハーフ	優勝	(1年)上仁 大地
	男子グリーン	3位	(1年)金子 青矢
	女子団体	優勝	(6年)小田 はるか (4年)上殿 伶奈 (2年)篠原 有紀子
	女子シングル	優勝	(6年)小田 はるか (6年)小田 はるか (1年)平松 祥子
	女子長距離賞(70m)		
	女子中距離賞(50m)		
第39回西日本夏季医 薬新人戦(ゴルフ部)	個人戦	9位	(2年)高田 侑弥

海梟祭(大学祭)の 準備を進める大学行事实行委員会

兵庫医科大学

平成29年8月、来る10月8日と9日に開催する「第10回海梟祭(大学祭)」に向けて、大学行事实行委員会に所属する学生による本格的な準備がスタートしました。

今年の大学祭テーマは「軌跡 ～十年十色～」。開学から10年が経過し、毎年それぞれの個性があった海梟祭に、今年らしい新しい「色」を加えたい、という思いで名づけられました。

メインステージのプログラム企画や大看板制作、模擬店出店者との調整など、学生たちは夏休みを利用して着々と準備を進めています。それぞれが役割分担を決めて活動しているそうで、パンフレット制作を担当する学生は「世の中の色々なデザインを見るようになった」と話すなど、良い経験となっているようです。

学生たちが一生懸命作り上げている大学祭に、ぜひご来場ください。



設管用資材の準備



メインステージの看板製作



大学行事实行委員会メンバー

～国際的な視野を身につけた医療人へ～ 兵庫医科大学・兵庫医療大学の国際交流への取り組み！

兵庫医科大学と兵庫医療大学では、医療の国際化、国際的に活躍できる医療人の育成を行っています。ここでは、医療者・患者さんの国際間移動などを見据え、は、直近で行った国際交流への取り組みをご紹介します。

兵庫医科大学

世界各地から留学生が来日

今夏も海外の各大学から積極的に留学生を受け入れています。

まず、6月にアメリカ・ワシントン大学より、本学糖尿病・内分泌・代謝科に1人、7月に中国・汕頭大学医学院から、臨床部門は消化管科、循環器内科、肝・胆・膵外科に、研究部門は生理学生体機能部門、生化学、遺伝学に、各部門2週間ずつ、3人の学生を受け入れました。

今年で10期目となるクロアチア・リエカ大学からは糖尿病・内分泌・代謝科に1人、救急科、ICU、麻酔科・疼痛制御科、感染制御科に2人、計3人を受け入れ、実習に取り組んでいます。

さらに、昨秋、新たに学術交流協定を締結したドイツ・ビュルツブルグ大学からも第一号となる学生が来学し、下部消化管外科、呼吸器外科にて、医師やスタッフ、学生とも活発な交流を行っています。

今冬は3年目となるオーストラリアからの学生も受け入れる予定で、本学の国際化もますます広がっています。



ワシントン大学の学生と糖尿病・内分泌・代謝内科の医師



ドイツ・ビュルツブルグ大学とクロアチア・リエカ大学の学生とのWelcome Dinner



クロアチア・リエカ大学の学生と救急科の医師



中国・汕頭大学医学院の学生と遺伝学の医師

兵庫医療大学

看護学部生が豪・アデレード大学へ留学

平成29年8月12日から9月3日までの約3週間、兵庫医療大学の看護学部生(1年次生6人、4年次生3人)が学術交流協定を結ぶオーストラリアの国立アデレード大学にて、今年で4回目となる「学術交換留学プログラム」に参加しました。

現地ではアデレード大学看護学部での講義や実習を行ったほか、隣接する王立アデレード病院(救命センター)でクリティカルケアの専門看護について研修を受け、実際に救命センターの現場を見学しました。

また私立病院のセントアンドリュース病院では、アデレード病院のような公立病院との診療内容・施設・保険システムの違いを学び、現地の看護師と意見交換を行うなど海外の医療現場や福祉の状況を学びました。

滞在中は、ホストファミリーの家に滞在。クルランド野生動物公園を訪問したり、伝統的なダンスであるブッシュダンスパーティにも参加して、オーストラリアの自然や生活、文化に数多く触れることができました。



アデレード大学1年生の「輸液準備」の演習に参加し、教員の説明をアデレード大学の学生とともに受けた後、グループに分かれて実施しました。



アデレード大学の卒業式などが行われるBonython Hall前で



ホストファミリー、英語研修に参加している日本人学生と一緒にBush Danceを楽しみました。



学士編入2年生のPractice Based Learningのグループワークに参加し、提示された症例についてアセスメントし、必要なケアを検討しました。



英語クラスの修了証を手に、にっこり。

おめでとうございます ―表彰および受賞紹介―

◆ 看護部 高比良 法子 次長が「平成29年度 兵庫県看護功績賞」を受賞

平成29年7月13日、38年以上の長きにわたり看護業務に従事してきた功績が認められ、看護部次長の高比良 法子次長が「平成29年度 兵庫県看護功績賞」を受賞しました。この賞は、看護業務の向上を図ることを目的に、保健師、助産師、看護師、准看護師で看護業務または保健指導業務に特に貢献した者に対して兵庫県から贈られる賞です。

～受賞した高比良次長より～

一つのことを長年継続し、それが功績として社会に認められ、とてもうれしく思います。患者さんやご家族が笑顔になれること、一緒に働いているスタッフが生き生きと仕事ができるように応援することをモットーに働いてきました。先輩、同僚、後輩、家族、友人など多くの人の支えがあったからこそこの受賞だと思います。看護師になって38年、たくさんの人々に育てられた日々に感謝します。初心を忘れず、これからも心のこもった質の高い看護を提供できるよう、努力してまいります。



◆ 放射線医学 北島 一宏 准教授が「Society of Nuclear medicine and Molecular Imaging Best Poster Award」を受賞



平成29年6月10日から14日にかけて米・コロラド州デンバーで開催された第64回米国核医学分子イメージング学会(SNMMI)にて、放射線医学の北島 一宏准教授が Oncology, Clinical Diagnostic Track (腫瘍部門)で「Society of Nuclear medicine and Molecular Imaging Best Poster Award (最優秀ポスター賞)」を受賞しました。

■受賞演題

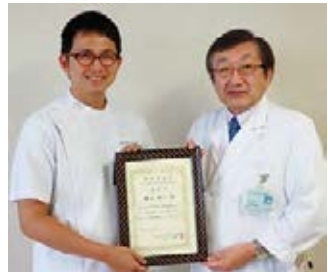
「Prognostic value of FDG-PET and DWI in breast cancer」

◆ 大学院生が「第38回日本炎症・再生医学会 優秀演題賞」を受賞

平成29年7月18日から19日に大阪市で開催された第38回日本炎症・再生医学会にて、大学院生の横山 雄一先生(兵庫医科大学病院 リウマチ・膠原病科 非常勤医師)が「第38回日本炎症・再生医学会 優秀演題賞」を受賞しました。

■演題名

「IL-2-抗IL-2抗体免疫複合体による関節炎モデルマウス治療のメカニズム」



▶ 教授就任挨拶 <平成29年8月1日就任>

兵庫医科大学 学長 付 田中 義正 特命教授



平成29年8月1日付けで、特命教授を拝命いたしました。私は、学生時代ニューヨークにあるアルバートアインシュタイン医科大学に留学した後、平成4年に北海道大学で博士号を取得し、再び博士研究員として渡米しました。その後、平成7年(財)大阪バイオサイエンス研究所研究員、平成8年東京女子医科大学助手、平成10年京都大学大学院医学研究科助手、助教、特定准教授、平成24年長崎大学大学院医歯薬学総合研究科准教授となり、現在に至っております。その間、PD-1免疫チェックポイント阻害剤を用いたがん免疫療法の開発や、 $\gamma\delta$ 型T細胞を用いた細胞免疫療法の開発などを行ってきました。兵庫医科大学では、岡村春樹特任教授が発見したIL-18を利用して、さらに治療効果の高いがん免疫療法の開発を行っていく所存ですので、ご支援ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位：千円)

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
(公財)上原記念生命科学財団	非小細胞肺癌における新規血管新生因子の同定	江口 良二	2,000
(公財)兵庫県健康財団	分子病理学的解析からみたピロリ感染例での長期アスピリン内服による胃癌の化学予防効果の検証	道上 祐己	400
公益信託 成茂神経科学研究助成基金	円口類ヤツメウナギ、ヌタウナギを用いた蝸牛前庭神経節の進化発生学的解析	菅原 文昭	400
(公財)三菱財団	代謝ストレスで誘導される老化関連T細胞を標的とした治療戦略確立に向けた基礎研究	新村 健	7,000

兵庫医科大学 平成29年度科学研究費助成事業交付一覧

平成29年9月1日現在、平成29年度科学研究助成事業148件 総額 2億7,431万円が交付されました。

昨年度の採択件数は142件、総額は2億4,239万円であったため、いずれも昨年度を上回る好結果となりました。

(※) 挑戦的萌芽研究は、平成29年度公募分より「挑戦的研究(萌芽)」となりました。

研究種目	新規採択	継続	交付件数
基盤研究(A)	0	0	0
基盤研究(B)	3	8	11
基盤研究(C)	27	66	93
挑戦的萌芽研究	-	6	6
挑戦的研究(萌芽)	4	0	4
研究活動スタート支援	0	0	0
新学術領域研究	0	0	0
若手研究(A)	1	1	2
若手研究(B)	9	15	24
奨励研究	8	-	8
合計	52	96	148

兵庫医療大学 平成29年度科学研究費助成事業交付一覧

平成29年度科学研究助成事業40件 総額 4,956万9千円が交付されました。

昨年度の採択件数は33件、総額は4,511万円であったため、いずれも昨年度を上回る好結果となりました。

(※) 挑戦的萌芽研究は、平成29年度公募分より「挑戦的研究(萌芽)」となりました。

研究種目	新規採択	継続	交付件数
基盤研究(B)	0	0	0
基盤研究(C)	9	14	23
挑戦的研究(開拓)	0	-	0
挑戦的萌芽研究	-	1	1
挑戦的研究(萌芽)	0	-	0
研究活動スタート支援	2	1	3
若手研究(B)	5	8	13
合計	16	24	40

平成29年度 二大学連携共同研究支援助成事業の採択状況

兵庫医科大学および兵庫医療大学の研究者の連携を通じて法人内でより高度な研究を促進していくために、平成27年度から二大学連携共同研究支援助成事業を実施しています。3回目にあたる今年度の採択事業は下記のとおりです。

1. 「丹波篠山圏域在住高齢者における生活習慣とフレイルに関する学術調査」

<研究代表者>

新村 健 主任教授 (兵庫医科大学 内科学(総合診療科))

<研究分担者>

兵庫医科大学 内科学(神経・脳卒中科) 芳川 浩男 主任教授

兵庫医科大学 整形外科 吉矢 晋一 主任教授

兵庫医科大学 歯科口腔外科学 岸本 裕充 主任教授

兵庫医療大学 薬学部 天野 学 教授

兵庫医療大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 伊藤 斉子 准教授

兵庫医療大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 佐野 恭子 准教授

兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 永井 宏達 講師

兵庫医科大学 ささやま医療センター リハビリテーション科 和田 陽介 講師

<チーム名>

FESTA (Frail Elderly in Sasayama-Tamba Area)研究チーム

2. 「兵庫医科大学医療大学における細菌叢解析の確立」

<研究代表者>

石戸 聡 主任教授 (兵庫医科大学 病原微生物学)

<研究分担者>

兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 宮本 俊朗 講師

兵庫医科大学 炎症性腸疾患学(外科部門) 池内 浩基 主任教授

理化学研究所 粘膜システム研究グループ 大野 博司 グループディレクター

兵庫医療大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 勝野 朋幸 教授

兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 永井 宏達 講師

<チーム名>

宿主細菌叢相互作用解析チーム

皆様からのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

学校法人兵庫医科大学基金兵医・萌えの会 状況報告

H21.7.1～H29.8.31

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	332	70,355,000円	1,780	128,770,498円	2,112	199,125,498円
入 金	332	70,355,000円	1,774	128,415,498円	2,106	198,770,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧 50音順

H29.6.1～H29.8.31

〔緑樹会・後援会・その他個人〕(101名)

●ご芳名・金額記載 23名

飯田 美奈子 様	50,000円
猪原 澄子 様	50,000円
岩井 一彦 様	50,000円
上垣 清 様	50,000円
上垣 孝江 様	10,000円
梅本 克己 様	10,000円
梅本 当志江 様	50,000円
大西 誠 様	50,000円
岡田 佳代子 様	250,000円
岡田 健三 様	750,000円
勝木 キミ子 様	5,000円
勝木 義人 様	5,000円
木村 靖子 様	50,000円
高橋 康恵 様	50,000円
中岡 薫 様	10,000円
中岡 幸子 様	50,000円
橋本 克己 様	50,000円
橋本 千恵子 様	10,000円
橋本 由利子 様	50,000円
宮田 淳子 様	50,000円
藪本 憲靖 様	50,000円
横山 和栄 様	50,000円
横山 良子 様	10,000円

●ご芳名のみ 25名

石岡 キセ 様
石田 園治 様
石田 二三子 様
大杉 令子 様
岡田 和隆 様
岡田 邦子 様
沖津 由子 様
川上 昇 様
小紫 格 様
菰口 良子 様
阪本 治男 様
佐々木 一弘 様
習田 大介 様

(匿名 53名)

〔役員・教職員等〕(1名)

●ご芳名のみ 1名

森田 泰夫 様

〔企業等法人〕(6法人)

●ご芳名のみ 3法人

鹿島建物総合管理株式会社関西支社 様
株式会社ボラリス 様
ヤンマーエネルギーシステム株式会社 様

(匿名 3法人)

兵庫医科大学新教育研究棟建設事業募金

～開学40周年記念事業募金～

H24.7.1～H29.8.31

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	200	1,171,815,000円	579	415,379,793円	779	1,587,194,793円
入 金	200	1,169,315,000円	579	414,854,793円	779	1,584,169,793円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧 50音順

H29.6.1～H29.8.31

〔企業等法人〕(2法人)

●ご芳名・金額記載 1法人

鹿島建設株式会社関西支店 様	10,000,000円
----------------	-------------

(匿名 1法人)

〔緑樹会・後援会・その他個人〕(1件)

●ご芳名・金額記載 1件

兵庫医科大学後援会 様	100,000,000円
-------------	--------------



～多職種で臨床研究をサポート～

学校法人兵庫医科大学 「臨床研究支援センター」

学校法人兵庫医科大学における今後の治験を含めた臨床研究の促進のための施策の推進を目的として、平成26年8月、研究戦略推進本部と兵庫医科大学病院の共管による「臨床研究支援センター」が設置されました。本センターは、本学で実施される治験・臨床研究の円滑な実施のための業務支援、および質の向上に向けた学内研究者等への教育研修、個別相談などを担っています。

開設から3年が経ち、関与する研究も増加してきました。それに対応するべく、当初は9人体制で発足しましたが、平成29年9月現在、医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、事務職など、さまざまな職種の23人がセンターに所属。学内外問わず、適正な研究を実施するための研究相談や文書作成支援、CRC(臨床研究コーディネーター)、モニタリング・監査、データマネジメントなどの業務を請け負っています。外部機関に委託する場合に比べ、安価なコストで対応できることや、研究の規模や予算に応じた柔軟な対応ができることが特徴です。

今後も、職種の枠を超えて協力しながら、本学の臨床研究が未来の医療に資する高度で質の高いものとなるよう、チームで尽力していきます。



11月～1月 主な行事予定

11月

4日	兵庫医科大学	兵庫医科大学後援会 秋期教員・保護者懇談会、懇親会
4・5日	兵庫医科大学	第46回醫聖祭(大学祭)
11日	兵庫医療大学	推薦入学試験(専願公募制、公募制S日程)
12日	兵庫医科大学	推薦入学試験(一般公募制、地域指定制)
15日	兵庫医科大学	教育研究棟竣工
18日	兵庫医療大学	推薦入学試験(公募制A日程)
18日	兵庫医科大学病院	肝臓に病気を持つ患者さんおよびご家族に対する家族支援講座・就労支援講座
30日	兵庫医科大学	共用試験医学系CBT 本試験(4年次)

12月

1日	兵庫医科大学	共用試験医学系CBT 本試験(4年次)
3日	兵庫医療大学	薬学部4年次生対象薬学共用試験(OSCE)
5日	兵庫医科大学	実験動物慰霊祭
7日	兵庫医科大学	津波避難訓練(1年次)
9日	兵庫医療大学	推薦入学試験(公募制B日程)
10日	兵庫医療大学	入試対策講座
16日	兵庫医科大学	共用試験医学系OSCE 本試験(4年次)
19日	兵庫医療大学	薬学部4年次生対象薬学共用試験(CBT)
未定	兵庫医療大学	仕事研究セミナー(全学部対象)
未定	兵庫医療大学	クリスマスイルミネーション点灯式
未定	兵庫医科大学病院	クリスマスコンサート
未定	ささやま医療センター	クリスマスコンサート

1月

13・14日	兵庫医療大学	大学入試センター試験
17日	兵庫医科大学	レクチャーシップ「知の創造」
19日	兵庫医科大学	大学院学位授与式
24日	兵庫医科大学	一般入試第1次試験
27日	兵庫医療大学	大学院入学試験Ⅱ期(薬学研究科・看護学研究科)
未定	兵庫医療大学	社会人スキルガイダンス～接遇マナー～(リハビリテーション学部3年次生対象)
未定	兵庫医科大学病院	肝臓に病気を持つ患者さんおよびご家族に対する家族支援講座・就労支援講座

学校法人兵庫医科大学

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解



兵庫医科大学



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

TEL:0798-45-6111(代)

<http://www.hyo-med.ac.jp/> (大学)

<http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/> (病院)

<http://www.corp.hyo-med.ac.jp/> (法人)



兵庫医療大学

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6

TEL:078-304-3000(代)

<http://www.huhs.ac.jp/>



兵庫医科大学

ささやま医療センター

〒669-2321 兵庫県篠山市黒岡5番地

TEL:079-552-1181(代)

<http://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/>

学校法人兵庫医科大学広報

発行月／2017年10月号・VOL.240

発行日／2017年10月1日

発行／学校法人兵庫医科大学 総務部 広報課